

---

---





# 施設見学案内図

独立行政法人水資源機構 利根導水総合事業所

〒361-0004 埼玉県行田市大字須加字船川4369番地 TEL:048-557-1501



## 1 駐車場 (施設見学者用)



事前にお電話でのご予約をお願いします

## 2 電光掲示板



説明を聞く児童たち

## 3 横断幕の貸し出し(2階受付)



利根大堰をバックに記念撮影

おおぜきしぜん      かんさつしつ      あんない  
**「大堰自然の観察室」のご案内**

『大堰自然の観察室』は、<sup>とねおおぜき</sup>利根大堰の1号魚道をのぼる魚を見ることができます。

<sup>しょか</sup>初夏には稚アユ、<sup>ち</sup>秋にはサケが<sup>そじょう</sup>遡上する姿を<sup>すがた</sup>窓越しに見ることができます。

4月～5月頃 <sup>ころ</sup>魚道を遡上する稚アユ



10月～11月頃 遡上してきたサケ



魚道で見ることができる主な魚類



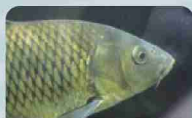
オイカワ



ニゴイ



ギンブナ



コイ



ウガイ



モクスカニ



「大堰自然の観察室」

午前9時～午後5時

（10月～1月は午前9時～午後4時30分）

洪水時又は業務の都合により開放できない  
 場合がありますのでご了承下さい



独立行政法人水資源機構 利根導水総合事業所

〒361-0004 埼玉県行田市大字須加字船川4369番地

電話番号 (048)557-1501(代) 平日午前9:00～午後5:00

URL:<https://www.water.go.jp/kanto/tone/>

Mail:wardec-t@apple.kannet.ne.jp



利根大堰の仕事は、利根川の上流からきた水をよこの取水口から、必要な分だけ取り入れることです。これらの水は沈砂池で砂を落とし、水路により埼玉、東京、群馬の田んぼや、浄水場に運ばれていきます。浄水場で消毒した水は、東京、埼玉の工場や家庭などの蛇口へと運ばれていきます。

また満田川をきれいにするための水も利根大堰から取り入れています。



← 詳しいデータはこちら



- ① 見沼代用水路
- ② 武蔵水路
- ③ 埼玉用水路
- ④ 邑楽用水路
- ⑤ 行田水路

## とねおおせき 利根大堰ミニガイド



水ががささえる豊かな社会

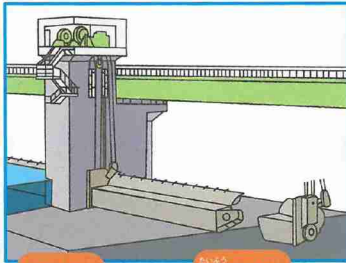
独立行政法人 水資源機構  
利根導水総合事業所

〒351-0004 埼玉県行田市大学加字1311 4369  
TEL 048-557-1501 FAX 048-557-1506  
<https://www.water.go.jp/kanto/tona/>

2018.7.24

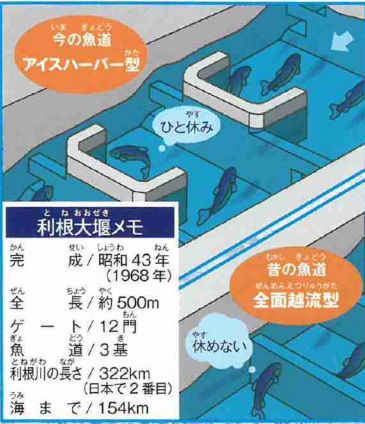
### ① 利根大堰のしくみ

ふだんは、ゲートを下げて、利根川の水を高く保っています。しかし、台風など、たくさん水が流れてくる時は、ゲートを上げて下流へ流します。



### ② 魚道

ゲートが下げられていると、魚は川を行ったりきたりすることができません。このため魚道という魚のとおり道を作っています。利根大堰の今の魚道は、魚がひと休みできるようにしています。



利根大堰メモ

完成 / 昭和43年 (1968年)

全長 / 約500m

ゲート / 12門

魚道 / 3基

利根川の長さ / 322km (日本で2番目)

海まで / 154km

### ③ 大堰自然の観察室

観察室から魚が魚道をのぼっているすがすがしい姿が見えます。春(5月頃)にはアユ、秋(11月~12月)になるとサケが魚道をのぼります。 ※観察室は次の時間に毎日観察ができます。 9:00~17:00(10月~1月は16:30まで)

